[第13回目] 位置エネルギー

≪今日の授業の目標≫

運動エネルギー 
$$K = \frac{1}{2} m v^2$$
 ,  $K_2 - K_1 = W_{1 \to 2}$ 

「仕事をする可能性」としてのエネルギー = 「位置エネルギー」(Potential Energy)

© 重力  $\vec{F} = m\vec{q}$  の位置エネルギー

$$U_{\underline{\mathfrak{m}}}(y) = mgy$$

: 基準点 y = 0 から高さ y まで持ち上げるあいだに、重力 に逆らって作用させる外力  $\vec{f}$  (=- $m\vec{q}$ ) がする仕事

$$U(y) = W_{\mathcal{I}, \mathcal{I}, 0 \to y} = \int_0^y (-m\vec{g}) \cdot d\vec{s} = \int_0^y mg \cdot dy = \int_y^0 (-mg) \cdot dy = W_{\underline{x}, y \to 0}$$

② 弾性力  $F_x = -kx$  の位置エネルギー : 基準点x = 0から, ばねの力に逆らって伸ばしたり 縮めたりするあいだに外力  $f_{x}(=-F_{x})$  がする仕事

$$U_{\text{iff}}(x) = \frac{1}{2}kx^2$$

$$U(x_{\mathbf{A}}) = W_{\mathcal{H}_{J_1,0\to x_{\mathbf{A}}}} = \int_0^{x_{\mathbf{A}}} (-F_x) \cdot \mathrm{d}x = \int_0^{x_{\mathbf{A}}} kx \cdot \mathrm{d}x$$

〇 万有引力  $f(r) = -G\frac{mM}{...^2}$  の位置エネルギー  $U_{\overline{\pi}}(r) = -G\frac{mM}{r}$ 

$$U_{\pi\pi}(r) = -G\frac{mM}{r}$$

(参考:基礎物理2の静電気力(クーロン力)も同じ形)

※基準点=無限遠(万有引力が無視できるくらいの十分遠方)

学習到達目標(7)力学的エネルギー保存則の意味がわかる。

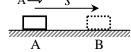
次回予定[第14回目]力学的エネルギー保存則(教科書 78~85 ページまで)

レポート問題 第13回目(右側の半分の解答用紙を切り取って提出しなさい)

数値で計算する問題は,答えにも必ず単位をつける!MKS 単位系で答えること!

 $\mathbf{B}\cdots$  問  $\mathbf{1}$  水平で粗い道路上を走っていた質量M=1000 [kg] の自動車がブレーキをかけ, 位置  $\mathbf{A}$ から位置 B まで滑って静止した。A での速さを $v_A$ , AB 間の距離をsとし, 道路と自動車と の間の動摩擦係数を $\mu' = 0.50$ とする。

運動エネルギーと仕事の関係式から、AB 間の距離 s を  $v_A$  、  $\mu'$  、 gで表し、 $v_A = 36$  [km/h] と72 [km/h] の場合でsを数値で求めよ。



- $\mathrm{B}\cdots$  問2 質量M  $[\mathrm{kg}]$  の物体が,傾斜角lpha の粗い斜面をs  $[\mathrm{m}]$  滑り降りた。動摩擦係数を  $\mu'$  と して、重力、動摩擦力、垂直抗力がしたそれぞれの仕事 $W_{\mathrm{m}}$ 、 $W_{\mathrm{k}}$ 、 $W_{\mathrm{N}}$ を式で表せ。また、 滑り降りる間に、速さが $v_1$ から $v_2$ になった。運動エネルギーと仕事の関係式を書け。
- B... 問3 ① 質量m=10 [kg] の物体を床から持ち上げて、高さy=1.0 [m] の棚に置いた。こ の物体の重力の位置エネルギーUを数値で求めよ。床の高さを位置エネルギーの基準とする。
- B… ② 水平からの傾斜角 30°の斜面を,質量m=2.0[kg]の物体が, 斜面に沿ってA点からB点まで10[m] 滑り降りたとき、 重力の位置エネルギーの変化  $\Delta U = U_{\rm R} - U_{\rm A}$  を数値で求めよ。

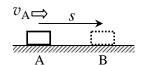


- 問4① ばね定数k=100 [N/m] のばねに物体を取り付けてx=0.50 [m] だけ伸ばした。こ のときの弾性力の位置エネルギー $U_{\mathrm{H}}$ を数値で求めよ。
- $\mathbf{B}$ … ② ばね定数 k=400 [N/m] のばねを 0.30 [m] 縮めるために必要な仕事 W はどれだけか。
- ③ ばね定数k=10 [N/m] のばねに物体を取り付けて、 $x_1=0.20$  [m] の位置から $x_2=0.40$ В... [m] の位置まで伸ばした。弾性力の位置エネルギーの変化  $\Delta U$  を数値で求めよ。
- 問5 教科書77ページの演習問題の問題1を答えよ。

解答用紙(授業 曜 限)学籍番号

氏名

数値で計算する問題は,答えにも必ず単位をつける!指示がない限り MKS 単位系で答えること! 問 1  $W_{\pm}$  = ,  $W_{\pm}$  = だから,



問 2  $W_{\pm} =$ 

 $W_{\pm} =$ 

M

 $f_{\sharp} = \mu' f_{\mathrm{N}},$ 

 $W_{\rm N} =$ 

 $W_{1\rightarrow 2}=$  だから、運動エネルギーと仕事の関係式は、

問3① U=

[ ]

②  $\Delta U = U_{\rm B} - U_{\rm A} =$ 

[ ]

問4① U=

[ ]

 $\bigcirc$  W =

[ ]

③  $\Delta U = U(x_2) - U(x_1) =$ 

[ ]

問 5 (a)

(b)  $U_{N}(r) =$ 

単位:

(c)  $U_{\rm N}(10^{11}) =$ 

(d)  $U_{e}(h) =$ 

単位:

(e)  $U_{\rm e}(2) =$ 

(f)  $U_{\rm sp}(x) =$ 

単位:

(g)  $U_{\rm sp}(-0.8) =$ 

]

☆このレポートをやるのに \_\_\_\_\_時間\_\_\_\_分,

それ以外に力学の予習復習を \_\_\_\_\_時間\_\_\_\_分した。